

## 市民電力連絡会2016年活動方針（案）

### 1、一般社団法人としての法人化をはかる

毎年開催してきた連続講座や、今回の市民電力台帳の作成など、当会の活動は社会的にも評価されまた期待されるものとなってきているが、助成金や委託費などの申請にあたり、非法人であることによる不都合が生じている。すでに法人と同等の活動をしている実態に即した体制と運営を行っていきたいと考える。

### 2、会員と活動資金の増強をはかる

(1) 毎年、計画的に助成金を申請する。

毎年助成金申請を行うためのチームを常設する。

さまざまな助成金についてリサーチし、申請作業を担う。

(2) 会員を増やす。

当会の活動を、より確実に広げていくため、さらなる会員の増強をめざす。

### 3、多方面の課題に対応できる政策対応チームをつくる

政府の再生可能エネルギーに関する政策はめまぐるしく変化しており、しかも審議会、小委員会、ワーキンググループなど20いくつの場（審議会等）に議論が分割され、当会に限らず政策決定変化のフォローが極めて困難になっている。当会としても、パブリックコメントには十分には対応できていないし、政策提言も当初の目論見ほどには果たせていない。

そこで今後の政策的提案活動を充実させていくために以下を提案する。なお、この活動は当会単独ではなく、他の市民団体と協力して実践することはやぶさかでない。

(1) 各課題別 政策対応チームをつくる。

当面29の審議会等をリサーチし、整理し分析するチームを編成する。

できれば1審議会等に1人、取りまとめ役含め30人を超えるメンバーを集めたい。審議会等の情報は原則公開されており、傍聴等をしなくてもその内容を掴みまとめることができる。子育てママなどの在宅参加も可能になる。

(2) エネルギー政策をめぐる各種パブコメへの積極対応

この間の政策決定に、パブコメ意見は多少なりと反映されるようになってきている。当会としても、政策対応チームを中心に、積極的に意見提出を行なっていきたい。

### 4、2016年度連続講座を開催する。

今年度は「市民発電所の飛躍的な拡大を！」をテーマとし、4月から10月まで毎月1回の連続講座全7回を開催する。これまで同様に、ホーム開催はエコギャラリー新宿とするが、6月は多摩市でのアウェー開催、8月は川崎市での首都圏交流集会、10月は中之条町への視察ツアーとする。

講座プログラムの詳細は下記の通り

①市民発電のための電力自由化ガイド＝4/22

お話：みんな電力、生活クラブエナジー、ネクストエナジー

②高まる自治体発電事業の可能性＝5/20

講師：磯部達（みやまスマートエネルギー）

③FITによらない市民発電事業モデルとは＝6/17

講師：山川勇一郎（たまエンパワー）

④これからの資金調達モデルを考える＝7/15

講師：吉田幸司（自然エネルギーファンド/弁護士）

⑤首都圏市民電力交流会 in 川崎＝8/27

⑥接続拒否?!九州電力の現場から＝9/16

講師：峰淳二（自然エネルギー事業協同組合レクスタ理事）

⑦合宿講座「中之条電力」＝10/21/22

案内：山本政雄（中之条電力）

## 5、市民発電所台帳の作成、活用

昨年度は市民発電所の実態調査を行い、データの集計を「市民発電所台帳」としてまとめた（2016年2月26日に結果を公表。）。これを調達価格等算定委員会や新エネルギー小委員会などへの提言として活かしていきたい。今後も、より正確な現場実態を把握するため、また新会員や、会員の新規設置発電所等のデータを加え、さらなる充実を図りたい。

## 6、他団体との協力のもと、再生可能エネルギーの推進をはかる

(1) 市民・地域共同発電所全国フォーラムへの参加、協力

昨年は小田原で市民・地域共同発電所全国フォーラムが開かれたが、今年は、原発事故後5年目となる福島での開催をめざしており、引き続き実行委員として、参加、協力する。

開催日時：11月4日（金）、5日（土）（予定）

(2) 自然エネルギーで豊かな日本を創ろう！アクションへの参加、協力

自然エネルギー財団や日本生活協同組合連合会などの消費者団体が加わるキャンペーン。再生可能エネルギーの発電事業者の団体として、このキャンペーンの幹事会に加わり、キャンペーンの成功のために協力する。

(3) パワーシフトキャンペーンへの参加、協力

消費者による電力会社および電力種別の選択を積極的に提案し、選択への参加者を増やすのがパワーシフトキャンペーン。この趣旨に賛同し、市民電力連絡会も運営団体として参加し、積極的にキャンペーンを進める。

(4) その他の市民活動への参加、協力

環境系市民団体などが協力して、環境政策、エネルギー政策への提言を行う「グリーン連合」や、東京の奥多摩や檜原村などのバイオマス資源、小水力資源の活用をめざす「東京の森活用協議会」に、当会として参加する。

その他、当会の会員、関連団体の呼びかける活動には積極的な参加と協力を行う。

## 7、さまざまなイベントへの出展・参加

アースデイ 2016、エコライフフェア、エコプロダクツ展など、外部団体の主催によるイベントにも積極的に出展、参加する。

以上